

学校番号	16	学校名	静岡県立三島北高等学校 (全日制)	校長名	鈴木 まき子
------	----	-----	----------------------	-----	--------

## 1 今年度の重点目標（学校経営目標）への取組と評価

## (1) 自ら学び、自ら考え・行動する生徒を育成する。

ア 紫苑祭やルームマッチでは生徒会と各委員会が連携し、確実に課題を克服し実施した。

イ 紫苑祭終了後合唱コンクールを実施したが、学習と行事の気持ちの切り替えを円滑に行い、集中して学習及び行事に取り組んだ。

## (2) 基礎基本の確実な定着を図り、応用力・思考力を高め、真理を探究する心を育成する。

ア 授業内容に合わせた週末課題、平日課題等を与え、基礎学力の定着を図った。また、小テストを実施し、生徒の理解度と課題に把握に努めた。

イ 学習調査を定期的実施するとともに、毎日の自宅での生活を記録し、家庭における学習の習慣化を図った。

## (3) 高い志を育み、進路希望の実現を図る。

ア 3年生では、進路検討会等を活用し、個々の生徒の進路希望の把握に努めた。

イ 1、2年生では、進路啓発講座、大学出張講義、大学訪問、職業講座等を発達段階に応じ、展開し、進路意識の高揚を図った。

ウ 年2回実施する講演会では、「学ぶ」ことの意義や知的好奇心を広げることができる講師を招き実施した。

5月 東京大学 ロバートキャンベル教授

演題「あえて日本語の中で生きるということ」

2月 大阪大学 片山 泰一教授

演題「夢はあわてて持たなくても良い？」

私はなぜ『脳とこころ』を研究するようになったか」

## 2 次年度以降の課題と対応策

## (1) 自ら学び、自ら考え・行動する生徒を育成する。

ア 授業参観・授業公開や校内研修を活用し、知識の伝達に終始する授業から思考力を高める授業への転換を図る。

イ 始業前10分を有効活用し、「朝読書」「朝学習」を効果的に実践するため、職員打ち合わせの簡素化を図るとともに、ノーチャイム制の導入を進める。

ウ 創立110周年の意義の踏まえ、紫苑祭における校内歴史展示を生徒会中心に実施する。

## (2) 基礎基本の確実な定着を図り、応用力・思考力を高め、真理を探究する心を育成する。

ア 45分授業の利点を共有し、予習・復習・課題を1つのサイクルとした学習体系の定着を図る。

イ 生徒の学習進度や理解度に対応した課題を提供するなど、やる気を引き出す工夫を行う。

ウ 部活動の活動計画を踏まえ、「八掃二修」を生活信条とした基本的生活習慣の確立を進める。

## (3) 高い志を育み、進路希望の実現を図る。

ア 創立110周年記念講演の講師をして、脳科学者の茂木健一郎氏に依頼した。

イ 進路検討会、大学研究、模試分析会等を実施し、個に応じた適切な指導を展開するとともに、課題を共有化する教員組織を構築する。